

感染症の予防のための 情報提供について

病 名	細菌性赤痢				
年齢及び性別	22 歳 ・ 女性				
職 業	看護師				
住 所	鈴鹿市				
発病年月日	平成 28 年 2 月 9 日				
診断年月日	平成 28 年 2 月 16 日				
【患者発生の経過】					
平成 28 年 2 月 2 日～2 月 5 日までインドネシアバリ島に個人旅行。					
2 月 9 日 腹痛、発熱（38～39℃）がみられたので、鈴鹿市内の診療所を受診した。					
11 日 発熱、水様性下痢（24 回／日）がみられたので、市内の病院を受診した。					
12 日 検査のために、再度、同病院を受診した。					
13 日 軟便（1 回／日）の症状がみられた。					
16 日 12 日の便検査の結果から細菌性赤痢と診断された。					
2 月 17 日、現在、患者に症状はありません。					
【防疫処置】					
接触者の検病調査、検便の実施及び消毒の指導（鈴鹿保健所）					
【県内の細菌性赤痢患者発生状況】					
	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	※平成 28 年
患 者	2	1	2	0	1
保菌者	1	1	0	0	0
計(感染者)	3	2	2	0	1
※平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 2 月 17 日現在まで本件を含む					

【自分できる予防の対策】

細菌性赤痢感染症は、赤痢菌に汚染された食物・水・手指等を通じて口から感染（経口感染）しますので、以下のことに注意しましょう。

- ① 食前・用便後には石けんを用いて、手を洗いましょう。
- ② 冷凍食品等は、食材の中まで火がとおるよう十分加熱しましょう。
- ③ 海外旅行中や帰国後に腹痛・下痢等の症状があった場合は、速やかに検疫所や医療機関の健康診断を受けましょう。